

11月21日（金）の夜、須玉ふれあい館の会議室にて、第1回「中部横断自動車活用検討委員会関係者ワークショップ」を開催しました。登録31名のうち、28名にご参加いただきました。

最初に、ワークショップの目的と流れを説明した後、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」について、事務局から紹介しました。その後、それぞれのお立場で中部横断道に期待すること、懸念することを自己紹介カードに書き出し、グループごとに紹介し合いました(p2~)。続いて、中部横断自動車道の概要について、現時点の計画内容を説明し、それに対する質疑応答を行いました(p5~)。インターチェンジの考え方を説明した後、その必要性和優先順位についてグループごとに検討し、検討結果を全体の場で発表していただきました(p8~)。最後に、各自感想カードにご記入いただき(p11~)、第1回のワークショップを終了しました。

第2回ワークショップでは、地域資源から中部横断道のルートの配慮事項を検討します。

<第1回プログラム>

1. はじめに
2. 「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」の紹介
3. グループでの自己紹介「中部横断道に一言」
4. 中部横断自動車道の概要
5. なんでも質問ポストイット（中部横断道の概要について）
6. 地域のくらしと中部横断道をつなぐインターチェンジの紹介
7. 中部横断道の使い方を考える（インターチェンジの必要性）
8. グループで話し合った検討結果の発表
9. まとめ

4つのグループに分かれて、インターチェンジを中心に議論いただきました。



ワークショップの目的

「北杜市まちづくりビジョン」の具体的な方策や取組となる『道路プラン』は、地域住民にとって身近な事象であるとともに、行政が真摯に取り組まなければならないことであり、『市民の取組プラン』は、地域住民自らが主体となって取り組むものであることから、これらに対して積極的な姿勢をもつ地域住民の参画が可能となるワークショップ形式で実施する。



北杜市中部横断自動車道活用検討委員会・ワークショップの関係

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

- ・ワークショップの手法について審議
- ・ワークショップから提案された道路プラン、市民の取組プラン等の意見（結論）について審議・確認・補足する。
- ・結果を北杜市長に報告する。

- 主な審議事項
- ・ワークショップの進め方（枠組み）
 - ・ワークショップの回数
 - ・ワークショップのテーマ
 - ・ワークショップでの検討結果の審議 等

検討方針
提示

検討方針
報告

ワークショップ

専門性・実効性	一般性
<p>関係者ワークショップ[○]（公募）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業、観光などの専門知識を持った方がアイデアを出す。 ・今後の市の産業・活動を担う世代が、責任を持って考えを述べる。 	<p>市民ワークショップ（無作為抽出）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者ワークショップで出された様々な意見や対応案などについて一般的な立場としての市民が議論し、考えを述べ、補足や追加意見を述べる。 ・ワークショップとしての意見をよりよくするために実施

※関係者ワークショップ、市民ワークショップに優劣はない。

広報活動
(広報誌、回覧、ハガキ、HP等)

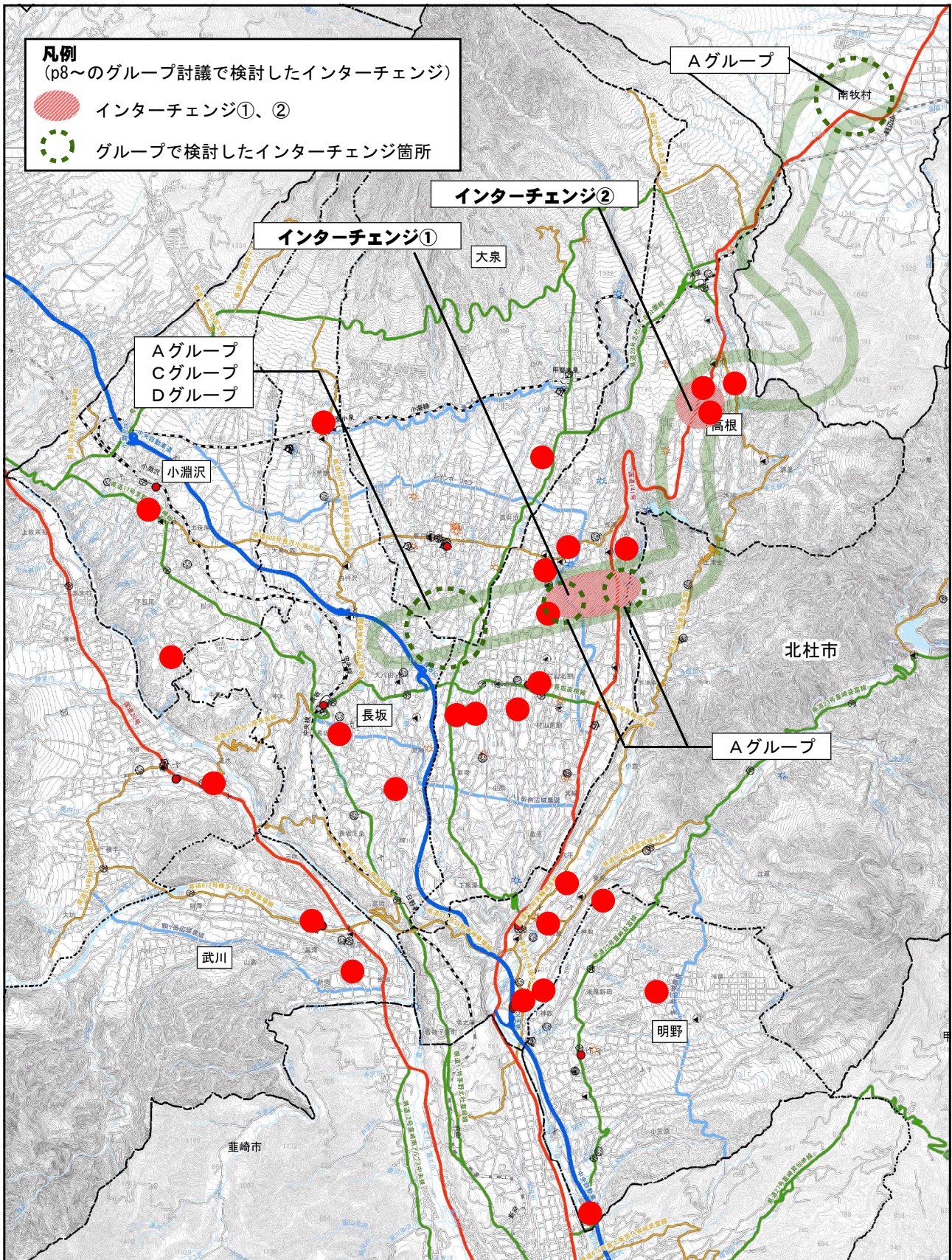
情報発信

意見提出

地域住民

グループでの自己紹介「中部横断道に一言」

「こうなって欲しい中部横断道・こうはなって欲しくない中部横断道」カードに記入していただきました。地図に自宅の場所をシールで貼り、カードの内容をグループで紹介し合いました。



こうなって欲しい中部横断道



地域の活性化に役立つ道

- 国道141号線清里ラインとの良好なアクセスにより清里及び、周辺が活性化出来ること。
- 地域活性化と利便性を重点に道路設計をして欲しい（県道、町道とのアクセス）。
- 北杜市が潤うことが一番と思われれます。住みやすい北杜市になることで子どもたちが増える（少子化問題の対策）ことを期待したい。雇用の人口が増える。大企業の誘致。
- 海外からの観光需要にプラスに働くような道。過疎地域が解消出来るような道。
- 北杜市で住んでいくのに経済面でプラスとなること。景観、環境、自然、まちづくりにおいてプラス面になること。
- ハヶ岳南麓の価値を高めるためのインフラ整備。
- 環境に配慮した横断道。産業推進にプラスになる横断道。
- 中部横断道によって、北杜市へ多くの人を訪れること。新鮮な海産物等が手に入りやすくなること。路側帯や法面を自然豊かなグリーンベルトにして小動物の保全帯になること。地域が元気になる。
- 産業（農業・観光）、経済の発展につなげて欲しい（物流効率の向上）。発展により、雇用の機会が増え、人口の増加につながって欲しい。
- 生活にフィットし、遊びやお休みにジャストな存在！そして一大事には頼れる中部横断道になってもらいたい。防災に活用できるものにする。企業を招き入れられる地域づくりの足がかりにしたい。
- 地域住民と観光客においても利便性向上に繋がるもの。地域住民、農業、観光従事者においても潤うことができる。



使い勝手の良い道

- 横断道を通る道でなく（佐久平スマートIC）のような自然を楽しみ、子どもたちが遊べるような市民と一体化出来る道作り、使い勝手の良い道。
- 使い勝手のいい道になってほしい。北杜市内の潤いがある道となってほしい。
- 使いやすい道路。他の地域からも一度は通ってみたいと思えるような道路。
- 次世代にいい道路を残す。
- 多くの人利用する道路。
- やるならつなげる。
- 高齢者にも女性にも運転しやすい中部横断道。
- 高冷地を通る道なので冬期対策を考え通行止めの少ない道路となって欲しい。インターチェンジ、アクセス道路は可能な限り南斜面を利用して欲しい。
- 長野、群馬、埼玉にちょくちょく出かけられる。軽井沢も近くを感じる。
- 多くの人利用したくなる道。
- 良い話題の絶えない、注目を集める横断道。



環境に配慮した高規格な道

- 高規格道路（高速道）として切れ目のない「国民の安全」確保の役目を果たして欲しい。北杜市内については、市当局、議会において市民の要望（ICは2か所以上）等を尊重し、早期着工、完成を目指していただきたい。
- 高規格＆高性能道路の設計及び運用にする。片側2車線（4車線道路）で追越、メンテの追求。中央分離帯を明確に。立体交差に工夫を重ね、使いやすい道路。
- 景観をこわさない道路。災害に強い道路。無料なので、市全体が使いやすい道路。騒音の少ない（低騒音舗装）道路。道の駅などとつながって地域の産物販売が紹介できる。
- 防災減災に役立つこと。地域の安全安心に役立つこと。産業の振興に役立つこと。地域間交流に役立つこと。人口減少に歯止めをかけること。自然に優しい道路であること。
- 人里から出来るだけ離れてほしい（犠牲を最小限に！）。
- 今までにない道路→自然環境にダメージを与えないよう十分に配慮した建設工法、道路管理を希望する。

こうはなって欲しくない中部横断道



景観の悪化、自然破壊

- 検討中。自然破壊だけの道路であってはならない。
- 自然、住民、環境に少しでも対応出来ない道となってほしくない。
- 景観、環境に問題、支障のある横断道。
- 景観や眺望の極端な悪化。空気汚染の進行。
- 景観を重視し、盛土による地域分断をできるだけ避ける。住宅移転を最小限に。
- 法面が大きく自然を壊す。無理な線形で事故の起きやすい道路。



市にとってマイナスになるような道

- 北杜市で住んでいくのに経済面で負担となること。景観、環境、自然、まちづくりにおいてマイナス面になること。
- 環境アセス（調査）等を充分に行い、致命的な北杜市や地域のダメージ（マイナス）の要素になること。国交省（国）の動向は重要であるが、一定期間の完成を強く希望している市民県民の声を反映できないこと。
- 北杜市の強みをダメにする道路整備、ブランド価値の毀損。
- ストロー現象にならないこと。
- あまりにも景観を気にしすぎて低い位置、谷ばかりを通さないで欲しい。
- 地域の人の心にこの道路による壁を残さない。
- 経済性と利便性を優先するあまり人里に近づいて欲しくない！
- 道路が通過する地域にとって、負の遺産とならないようにして欲しい。



通過するだけの道、利用されない道

- 便利になって通過するだけの道ではないようにする。利用しない道、ブランド価値を下げる様な。
- ただの通過に使われてしまう。
- 北杜市が通過されてしまう道。
- 通過する場所にだけはなってほしくない。無駄な税金ばかり使ってほしくない。
- 単なる通過点にならないで欲しい。景観を損なってしまふ。騒音対策。
- 私の小学生時代に学校道を新しく作って欲しいと願い続けた道が来年開通するが来年度から小学生がいなくなる。将来誰も使わないような中部横断道になってほしくない。通過するためだけの道路になってほしくない。
- 利用されない中部横断道
- 利用者の少ない道路。
- 利用がなく、意味のない道路。
- 利用車が少なく寒々しい冬期道路。



使いにくい道、無駄な道

- つながらない道、無駄なキャパ！
- 様々な理由で無駄なものになってもらいたくない。
- 事故が多発する道。渋滞しやすくなる為。
- 中途半端は絶対にやめましょう。計画完成してから供用＝建設工事がだらだら長引かなせないこと。事後に追加工事は禁止＝事前の協議は充分に。将来にやめておけば良かったと思われぬ道。



なんでも質問ポストイット（中部横断道の概要について）

説明を聞いた後、それぞれ質問をポストイットに書いていただき、担当者から回答しました。

インターチェンジ、サービスエリア

- インターチェンジの設置数に制限があるのか。
- 北杜市内のICは増やせる？
- ICはスマートICを含めて増やせるのか？
- スマートICについて
- インターチェンジの場所は2か所予定されているが、スマートICを利用して増加させることはできるか？
- ICの位置は決定ですか？
- 無料道路なのでICは多く希望されると思うが、増設は可能か？
- 長野側のICの場所がわかりませんが、北杜市内に2か所も必要ですか？
- 長野側の新規インターはどこ？？
- サービスエリア又はパーキングエリア等の計画はあるのか。
- パーキングエリアは？
- SAについて

北杜市建設部：現在はルート帯という形で、インターチェンジの位置は決まっていない。インターチェンジについてはワークショップ等で必要な数、必要な場所を議論し、市の考えを国に伝え、必要なものを求めていく流れになっている。

現在、中部横断自動車道の長坂～八千穂間については有料道路か、無料の新直轄かが決まっていない。有料道路ではサービスエリアが造られ、無料道路の場合は道の駅等の休憩施設となる。道の駅は本線からいったん降りて入るといのが今までの手法だったが、昨年の道路法の改正で、本線に直結したサービスエリア的な道の駅の整備が出来るようになったと聞いている。それらの休憩施設についても議論していただく中で、要望する内容を決めていきたいと考えている。

インターチェンジ周辺の商業施設等

- ICにて、地元の特産品等の販売できる場所が造れるのか？
- インターチェンジ周辺の商業施設整備等の補助事業計画はあるのか？

北杜市建設部：インターチェンジ周辺の施設については、地域振興として考えていくべきものだと考えている。物産品を販売するような設備、オープンスペースについても、今後の議論の中で検討していきたいと思う。

スケジュールについて

- 完成までに想定している整備スケジュールを教えてください。
- 今後の予定（長坂～八千穂）
- ルートはいつ決定、発表するのか？
- 開通時期の目標を何年後としているか。
- いつ完成を目指しているの？
- イメージ図はありますか？

北杜市建設部：ルート帯の承認を得て、環境アセスが来年度から始まると聞いている。環境アセスに3～5年、その後事業着手、用地の取得が始まり概ね10年程度はかかるのではないかと聞いている。これは一般的な話で、環境アセスの期間、工事の計画、その整備に伴う見通しの中でスケジュールが固まってくるが、市としては必要なものなので、早期整備をお願いしていく。

コンサルタント：今のところ、公表されているようなイメージ図はない。

経済性について

- 無料か有料か、先に決めましょう（ICに Toll Gateが必要かどうか判断できない）。
- 高速道路は有料か？
- 「経済性、コスト削減に配慮する」と国交省は明記しているが、疑問を感じる。コストを掛けて良い道路を建設してほしい。
- 完成後の道路整備などの費用は、北杜市民が担っていくのでしょうか？
- 費用対効果（B/C）なんて考えなくて良いのですよね～。



北杜市建設部：有料か無料か、国交省の方針が決定していない。ただ佐久小諸ジャンクションから佐久南ICまでは新直轄方式の無料道路なので、恐らく長坂ジャンクションまでは無料になるのではないかと。市の職員の立場で言うと、どうせ造るなら日本一の道を造っていただきたい。それには皆さんの声が必要なので、そういう思いで皆さんと一緒にこのワークショップに臨んでいきたいと思っている。

例えば市道に連結する場合には、道路管理者負担という原則があるので、市道の連結であれば市、県道の連結であれば県が負担することになる。サービスエリアは事業者、道の駅に付随する施設は市の負担になる。道路の維持管理については有料道路であろうと無料道路であろうと道路管理者の負担で、市の方の負担はない。

道路構造について

- 1km幅ですが、現実として4車線（50m幅）又は片側1車線の可能性はあるのですか？
- 片側一車線なのか、二車線なのか？
- 全線一車線？二車線？
- 掘り切り（地下）の道路となり得るのか？
- トンネルはつくるのか？
- 道路幅はどのくらいですか？
- 道路設計の基本は盛土方式でしょうか。
- 標高差が大きい路線なので、盛土が多いのではないかと？
- 景観に配慮して、長坂～141号はトンネルでも可能かと？
- 景観に配慮した高速道路とは、どのような方法でしょうか？



北杜市建設部：今の段階では片側二車線、四車線の計画の高速道路だが、暫定で一車線ずつの二車線という整備が先行する場合もある。コンクリートむき出しではない土等で、景観にある程度配慮したものを造っていただくよう、こうしたワークショップの議論をいただきながら要望していきたいと考えている。

コンサルタント：テーブルにある立体地図は、高さ方向に1.5倍の高さ比をつけ、高さを強調させた形になっている。一般論としては、山が高いところではトンネルにし、谷が深いところは橋梁にする。比較的平らなところでは、中央道の構造同様、高さ5～8mぐらいの盛土構造が採用される事例が多い。

環境について

- ルート上の生物調査方法はどうか（業者任せか、地域住民を加えるのか）。
- 今までの環境アセスメントの手法に疑問を感じる。新しい手法で十分な時間、手間を掛けて実施すべきでは？



北杜市建設部：国が進める環境アセスについて、市としての考え方をお伝えする場がこれから出てくと思う。市としては当然地域の声、地元の声聞きながら、環境に配慮した道路構造を造っていただくよう国にそれをお伝えし、実施していただくことを考えている。地元の声、地域の声は、こうしたワークショップ等で集約したものを上げていくことを想定している。

賛否について

- ・計画決定とみならず根拠を簡潔に考えて下さい。
- ・絶対反対と云う人達を、どう取り扱えば良いのでしょうか。
- ・住宅の移転にかかわる代替地の配慮は。
- ・横断道路になるところの住民（全員）の方々の賛同は得られているのか？

北杜市建設部：Bルート帯案に反対されている方がいるのは事実で、それは1kmルート帯案の生活環境への懸念から。その方々のお話を伺い要望を受けているところだが、ワークショップにおける環境、景観の話し合いの中で、不安や懸念が払拭できるご意見も出てくると思うので、それらもお知らせしながら理解をしていただきたいと思います。ルートにかかった方への補償等については、ルート決定後、事業者である国に協力して、要望をお聞きしながらご理解いただけるような努力を図っていく。

計画決定の根拠は、Bルート帯については7月23日の小委員会において承認されたが、正式には、国土交通省が対応方針案を決定する手続きになる。市で事実上決定と認識しているのは、国が小委員会に諮問し決定したものを定める必然性がないと考えているからで、ルート帯についてはほぼ決定という認識でいる。ルートが決まるまでの間、市ではまちづくりについて、活用検討委員会やワークショップ等で検討を進め、考え方をまとめていきたいと考えている。

ワークショップについて

- ・ワークショップのメンバーに女性がもっとほしい。
- ・来訪者を増やすためには、顧客となる地域外の方々の声も参考になるのでは？
- ・このワークショップの意見はどの様に計画に反映されるのかorされないのか。

北杜市建設部：「メンバーにもっと女性を」というのは、事務局の願いでもある。来年度は女性を増やしていくようなことを考慮しながら進めていきたい。

ワークショップの結果や取組は市のホームページに掲載することを予定している。そちらにご意見をいただくアドレスも用意し、地域外からもご意見をいただきたいと考えている。このワークショップで出た意見は活用検討委員会に上げ、その意見に追加、補足をして審議をし、それが市に上げられる。市としては、答申を受けた中でしっかりと意見を国の方に届けたいと思う。

その他

- ・東京から2時間圏内における、競合する観光地に対して、差別化要因となる北杜市の価値って何ですか？
- ・未来はどんな車が走っているの？

観光産業部：山紫水明と北杜市は言うが、軽井沢や那須高原、千葉、どこにでもあるではないかというご質問だと思う。観光と一言で言ってもいろんな形がある。昭和の時代は一つ立派なものがあって、そこにみんなで押しかけるというスタイルだったが、今はツーリズム、人々の交流がなければ満足が得られないと言われている。この地域には良い自然観光資源がある。それらをしっかり見て、価値を磨いて、それを人に伝えていくことが大事だと思ってやっている。具体的には標高1,000m辺りがお母さんの胎内の気圧と同じで心地が良いということで縄文時代から人々がたくさん住み、今も芸術家や療養、癒しを求めて別荘で過ごされる方などが大変多くいる。また水が良く、その水で育まれる農産物がとても美味しい。南アルプスにはフォッサマグナが走り、ライチョウを始めとするたくさんの動植物がいる。そして農文化、生活スタイル。春に山菜を採りに行き、夏場は総出で草刈りもし、秋になれば米を天日干しにして、まず自分たちで分けてお裾分けをして、余ったものを出荷する、そのような文化を持つ心豊かな方がここには多いと思う。これらを組み合わせるツーリズム、人々との交流を推進していくことが他の地域との差別化を図る観光振興になると考えている。



＜会場から質問＞
高速道路を通すと
税収が上がるのか？

北杜市建設部：通常道路は公共施設なので、固定資産税は入ってこない。道路で税収が上がるとすれば、副次的に、例えば観光客が増えた中で、北杜市に落ちるお金という形ではないかと思う。

中部横断道の使い方を考える（インターチェンジの必要性）

検討シートに、それぞれの観点からの必要性を整理し、2つのインターチェンジの必要性和優先順位を考えていただきました。

（インターチェンジ①＝I C①、インターチェンジ②＝I C②と表示）

Aグループ

	優先順位	ポストイット記録
I C①	－	<p>（観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭山周辺の道の駅、旭山の山頂の展望、眺望、360度 道の駅、南清里の活用。R141 レインボーラインとの連結により、小淵沢までのアクセスが便利（国道より） 未来の観光地も求めて。 <p>（産業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業利用を考えると、農道接続が良いが…。 地元農産物、販売量を多く出荷できる。 <p>（くらし）</p> <ul style="list-style-type: none"> 長坂I Cへ近いため、買い物に便利 レインボーラインに接続。都市部＝買い物のための移動、遠距離＝介護、別荘、通勤 北方への交流が増す。
I C②	－	<p>（観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> 清里観光振興 清里方面の観光振興には欠かせない。 魅力的な観光ポイントがある。 観光客が訪れやすくなり、より多くの集客ができると思う。 清里の観光スポットに近い 野辺山方面のI Cの位置との関係も重要 スマートインター、S A、P Aを出来るだけ多くする。 <p>（産業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客が増える事により、観光客向けの商業などが活発化される。 <p>（救急医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸の孤島となりやすい地域だと思う。 <p>（防災）</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸の孤島となりやすい地域だと思う。
その他	－	<p>（観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> インターチェンジの数を増やす。 三分一周辺、円形富士、八ヶ岳一望の絶景スポット又は休憩スペース、道の駅等。 北杜八ヶ岳線に接続 <p>（救急医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> 甲陽病院、塩川病院利用に便利 <p>（防災）</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災上は多い方が良いに決まっている。 <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気自動車に対し無料の充電場所を。国、県、市、JV、電力事業者と共同で作し、集客及び話題作りをする。 無料区間をできるだけ長くするには、長坂I Cに近いところにブースが欲しい。

- ・インターチェンジ①は北杜市を縦断するという意味で必要。
- ・インターチェンジ②は清里地域の観光振興、また生活、地域の発展にとって非常に必要である。
- ・この道路が新直轄になるのかならないのかについても非常に問題点があり、インターチェンジをいくつにするかは非常に難しい。
- ・長野県側のインターチェンジがどこになるかによってもインターチェンジの位置も多少ずれる。全体像が見えにくいので、優先順位は集約できなかった。

	優先順位	ポストイット記録
I C①	1	<p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（農業等）の活用を観光に結び付けること。 ・オオムラサキセンター周辺の里山景観を観光資源にしていくべき。 <p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状ある道の駅、R141へのアクセス ・地域農業又は企業誘致の視点が必要 <p>(くらし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高根町の中心部であり、定住促進に寄与する。生活に密着したインターが必要。国道141から距離があっても。 ・買い物、「きらら」へ来る人が増える。その周辺へ、商店街へ。 ・生活利便性の向上。医療、防災性の向上。 ・農業体験をする人が増えると同時に観光も兼ねる。 ・他県の農水産物の購入にはきららに近く、長坂パーキング近いのが良い。 ・農産物を新鮮に届けられる。 <p>(救急医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に長坂ICがあるので必要性は低いが、ヘリポートなどの施設が有効である。 ・甲陽病院に近い。 ・産院への搬送時間短縮 <p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R141、清里高原道路に次ぐ第3の道路として役立つ？ ・防災の拠点として高根体育館やグラウンドを有効に使える位置が最良である。 ・災害等の物資の輸送。 ・大災害に備えて、一般道へのアクセス口はいくつも必要 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致は無理です。 ・過度の企業誘致は良くない。地域の長所を発見し、観光に活かすべき。
I C②	1	<p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清里高原、野辺山高原を活性化する為にインターは絶対必要である。 ・八ヶ岳への観光として、非常に重要であり、通過道路の防止。 ・清里を重点的に考えるべき。 ・観光地の連携は望んでいない。 ・登山者の呼び込み、多くのアクティビティを取り入れる。 ・清里、大泉、小淵沢へ足を伸ばせる。 <p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何より自然を優先した観光振興に資することが第一である。 <p>(くらし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雪時の除雪、救援 <p>(救急医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICにヘリポートの併設 ・救急医療の役には立たない！ ・救急搬送 <p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大災害に備えて一般道へのアクセス口（ぐち）はいくつあっても良い。 ・除雪車両の基地設置 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代車両のエネルギー補給設備 ・ヘリポートは必須条件 ・インター②はスマートICが良い。

- ・優先順位は両方一位、順位がつけがたい。
- ・清里の方に除雪車の基地をつくり、大雪の時には除雪車の移動を可能にすることもある。
- ・ヘリポートを設置し、救急搬送の時にここへ着陸して患者の救命に役立てたい。
- ・大地震の時など、今の中央自動車道だけでは非常に不宥が残る。中央自動車道の高架やトンネルが潰れたら、長期間に渡って閉鎖される可能性が十分考えられる。長野方面、静岡方面からの物資の流入をして山梨の孤立を防ぎたい。

	優先順位	ポストイット記録
I C①	1	(観光) ・八ヶ岳南麓の各方面に動けるICである。 ・レインボーラインの眺望 (産業) ・企業誘致がしやすい。 ・農産物の物流が良くなる。 (くらし) ・津金地区の過疎対策に使いそう。 ・住宅地に整備したら若者が増える。 (その他) ・141側につなげると、東京から来た長野行の大型車が料金を安くするため須玉で降りて、141を走ることが考えられるのでいいと思う。
I C②	1	(観光) ・清里の観光に大きく影響する。 (産業) ・地域産物の流通の短縮化はある。 ・平地利用として物流の拠点となり得る。 (救急医療) ・佐久病院への時間は短縮される。 ・長野、山梨どちらでも医療を受けやすい。 (防災) ・国道141号が大雨の時の代替確保 ・防災、大雪等の国道代替アクセスとしてとても良い。
その他	1	(観光) ・141だけでなく、横道にアクセスしやすい場所にしてほしい(県道など)。 (救急医療) ・消防署が長野側の病院とちゃんと連携できていなければ、道ができて意味無し。 (その他) ・長坂IC手前で乗り降り出来た方が良いのでは。 ・北杜八ヶ岳公園線にIC

- ・優先順位は皆さん、それぞれ主張していてすべて一番になった。
- ・①はレインボーラインの眺望、大泉の上にも広い敷地があるので企業誘致がしやすい、農産物の物流が良くなるという話が出た。
- ・②は清里なので、観光も良くなる。佐久総合病院など向こうに良い病院があるので、県立中央病院の方ばかりではなくそちらにも行けるのではないかな。
- ・141号の弘法坂のところ急峻なので、中部横断道のインターチェンジが出来れば、そちらへ回って抜けられて良いのではないかな。
- ・北杜八ヶ岳公園線という、五町田の交差点を上がっていく県道がある。長坂インターから近いが、あそこにもインターチェンジがあれば、大泉駅に向かうアクセス性が向上するのではないかな。



	優先順位	ポストイット記録
IC①	1	<p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長坂インターの混雑の改善と、八ヶ岳南麓全体へのアクセスを促す為 ・141号へのアクセス、南清里道の駅等の利用者に最良な場所 ・縄文時代～歴史の観光 <p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業⇄観光⇄暮らし。北杜市としてのライフスタイルの提案と商品化 <p>(暮らし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長坂インター出口の混雑を改善 <p>(救急医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急病人の為に30分以内の搬送が出来る様にした。 <p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八ヶ岳PAのスマートIC化で、出口渋滞を緩和できないか。 ・降雪車のプールが必要？ <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北と東西、2方向のアクセスを考慮した配置 ・地元の農産物の販売が出来ることを望みます。
IC②	2	<p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔なつかしい観光にして、地元を元気にしたい。 <p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日照時間日本一の地元農産物の産業を。 ・農産物出荷（川上村） <p>(暮らし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会の人達の永住を望み、暮らしの活性化を望む。 ・別荘地への配慮
その他	3	<p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北杜八ヶ岳公園線にもICを。 ・野辺山方面からの清里へのアクセスで、長野県境付近へのIC

- ・どれも利便性、活性化のためにも大事だが、あえて順位をつけてみた。
- ・誰もが清里にインターチェンジが来るだろうという予測があるが、清里は非常にエリアが狭いので意外とインターチェンジが近くにあるがためのマイナス部分に気付いた。
- ・長坂インターチェンジに「きららシティ」があるために混雑がひどいので、それを緩和するためにも①は必要。また八ヶ岳全体、南麓全体を見たときには非常に効果が得られるのではないかと。

まとめ

最後に、今日参加しての感想やご意見などを、感想カードに書いていただきました。

中部横断道に期待している

- 「日本一の道路を創る」という担当者の志に共感を覚えました。実施主体である国に要望するというスタンスではなく、日本を代表する道路整備モデルをつくるために国をリードする心意気で取り組んでいけると良いと思います。やりっぱなしではなく、各回のWSの成果をまとめて参加者にフィードバックしてほしい。参加意識を高め、中部横断道、市政のサポーターとなる市民の育成のためにも。関係者皆様方の挑戦的な取組、応援しています。
- 地元を元気に地元にお金が落ちるような利便性の良いICをお願いしたい。人口が減少しているので、永住出来るような魅力的な道造りを造って頂きたい。
- 参加者がBルート帯付近に居住されている方が少ない事に驚いています。今回は検討会というよりも、説明会のようなものでありました。途中までは私にとっては有意義でありましたが、ICにつきましては141号長沢付近に皆さんが賛成していただけて良かった。
- 本件の様なディスカッションを行う場合は現状のアクセス道路や居住地、各産業の分布状況のみでなく、本件道路が完成した後の構想も踏まえてインター等の設定を考えることが重要だとつくづく思いました。
- みなさんの意見は様々だということがよくわかりました。ICの場所についても重要ですが、このエリアが素晴らしい所だという魅力を発信できる仕掛けがほしいと思いました。具体的にはこれから多くの意見があると良いと思います。
- 参加して良かったです。気づいたことは（清里在住です）インターチェンジ清里観光を意識しすぎるあまり、却って観光にマイナスになってしまうことです。清里ルートはもっと国道と離れた所をルートとしたほうが見た目も音の問題も軽く出来るのではと気づきました。
- 中部横断道ができることによって、メリットデメリットが出てくる。皆で話をして、出来るだけメリットが増えるようにしたいです。また、反対派住民にも丁寧にわかるようにしていけたらと思います。
- 今回のワークショップに参加して、色々の問題はああるが、せつかく造る道路はいかに良い道路にするか、多方面よりの意見、要望をたくさん出して意義のある道路にしたいと感じる。

ワークショップについて

- 色々な意見を伺う事ができた。グループ議論の時間をもう少し長く欲しかった。
- 前提条件が不明な点もあるなかであっても、濃い議論が出来たと感じました。
- 暫定、過程、推測の中でみなさん自由に発言できた。より充分な話し合いのために満足できる時間管理の為にワークショップ、プログラムの充実に努めたいと思います。国交省からの参加（傍聴？）の発言がなければ、WSの雰囲気が悪くなる。
- 非常に今夜は考えさせられました。早期着工のみ今までは思っていました。しかし、自分たち本位で考えなければと思わせるような手法でした。ご苦労様でした。
- 第一回会合ですので概論となりましたが二回目以降は具体的な議論になることを望みます。中部横断自動車道は本当に北杜市の為になるのか、非常に疑問である。
- 勉強になりました。今後活かしていきたい。
- グループの方々のたくさんの意見が聞けて良かったです。女性の委員が各グループに2~3名いれば良かったのではないかなと思われた。次回の話し合いまで自分なりの意見を考えていきたい。どんな話が出るか楽しみです。
- 大変有意義なワークショップでした。やはり時間的な余裕がなく、即答であった様で不安が残る。宿題として予習をします。専門的な説明は噛み砕いてわかりやすく端的にお願い致します。
- 見ず知らずの初めましての先輩方と話し合いが出来て、良い経験だなと感じました。一生懸命取り組んで良い充実した時間を作っていきたいと思います。
- 時間が長いので、2時間くらいで終わるようなすすめでお願いします。可能性や想像力を働かせながら市の将来の形を考えていますが、財政的な問題もあるので、難しい面もあります。
- 参加者それぞれの意見が聞けて良かったです。ただし、中央道（有料）と横断道（無料）とは、別物だということを理解していない方が多いので、気をつけないといけない所だと思いました。

うまく意見をまとめてほしい

- 色々な意見を聞いたことは大いに参考になった。ワークショップの一人ひとりの意見は大切にさせていただきたいと思いますが、ある程度の時を見て早い決断をしていただきたい。
- いつものことだがやはり最初は各々勝手な意見となるため、意見集約は難しかった。個々の意見をある程度事務局で集約して方向性を示して欲しい。事務局案を3案程度示して、それに対する意見を言うのはどうか。
- 人は誰もが自分の意見をなかなか言いづらいもの。本音になればなるほど次回はもっと…。ファシリテーターに乞う期待！



情報をきちんと出してほしい

- 道路の建設上の法律、使用上の規程などを説明して頂きたい。(専門家による講演など)
- 第一回に参加し、内容が深く濃いので事前の資料を多く頂きたいと思いました。また、長野県側の情報(ルートやインター)などを次回詳しく教えていただきたいです。
- グループディスカッションの時間をもっと欲しい。暮らしや防災、病院の場所や救急など地域の情報がもっと欲しい。
- 高速道路完成させる目標のような物がなく少しがっかりした。意見の言いたい放題ではあまり意味がないと思う。もっと多くの情報を出さなくてはアイデアは出ないと思う。
- 原案が曖昧で、自分の考えが適切かどうかわからない。